

# 県民だより 運動企画!

歴史や文化、生物多様性などさまざまな魅力にあふれ、日本一とも称される北摂の里山。阪神北摂民局では、その一つ一つを自然の展示物に見立てた

“北摂里山博物館(地域まるごとミュージアム)”として発信し、里山の保全と利活用に取り組んでいます。

これまで30の里山を選定しており、この度、新たに4つの里山が仲間入りしました。2つの里山が選ばれた三田市で保全活動されている団体からお話をいただきました。

## 武庫・狭間・弥生の森

【三田市狭間が丘ほか】

三田市のフラワータウン弥生が丘・狭間が丘と神戸市との市境に沿う全長5kmの小径の森です。コナラなど落葉樹を残す形で整備され、その傍らで出た伐採材を使った階段、散歩を楽しむための樹木の紹介板やベンチも設置。上り下りが緩やかな小径は、多くの人が利用しています。



アクセス: 東の入口は北摂三田高校横から(神戸電鉄「横山」駅から徒歩約18分)

守っている人たち  
**花の里公園奉仕団**



### ここで保全活動されている「花の里公園奉仕団」

2003年に定年で三田へ転居してきました。ある種のおこがれを持っていた「里山活動」を、講習を受けた有馬公園において月2回、仲間と始めました。

しかし「里山はもっと身近にあるべきではないか」「整備された森が市民に日常的に利用してほしい」「活動頻度をもっと上げたい」等の理由で、活動場所を自宅から歩いて行けるフラワータウン周辺地に求め、新しい仲間と2009年から「花の里公園奉仕団」の活動を始めました。

その内容はいわゆる里山林の整備で基本的にコナラなど落葉樹を残し、アラカシなどの常緑樹や笹を伐採しています。

ニュータウンの周辺緑地が細長く分布するため結果的に神戸市との境界に沿った森の中を通る5kmの起伏のある山道が出来上がりました。

フラワータウンの居住地から10分程度で山道に入り多くの住民の方の散歩道として楽しまれています。

・・・中面に続く

会員は12名。制限しているわけではありませんが平日の活動であるためか65歳以上、定年後の男性です。最近頼りになる女性が1名入会されました。

活動日は1年中、毎週火曜日、弁当持参で10時から15時です。